

パブリックコメント実施結果の概要

- 平成24年8月9日～9月7日までの約1ヶ月間、諮問「瀬戸内海における今後の目指すべき将来像と環境保全・再生の在り方について」の企画専門委員会中間報告について意見募集(パブリックコメント)を実施。
- 意見提出数は23者(個人9者、団体14者)で、延べ意見数は120件。

意見提出箇所	意見数
全般	10
第1章 現状と課題	
第1節 瀬戸内海の特徴	3
1. 「庭」としての価値	
2. 「畑」としての価値	
3. 「道」としての価値	5
第2節 これまでの環境保全施策の経緯	
第3節 環境の変遷と課題	
1. 水質	1
2. 底質・海底	5
3. 藻場・干潟・塩性湿地等	2
4. 景観	2
5. 新たな課題	1
第4節 環境政策をめぐる新たな流れ	
1. 第四次環境基本計画	
2. 生物多様性に係る戦略	
3. 海洋に関する総合的な取組	
第2章 瀬戸内海における今後の目指すべき将来像	
第1節 今後の目指すべき『豊かな瀬戸内海』	2
第2節 『豊かな瀬戸内海』のイメージ	
1. 美しい海	
2. 多様な生物が生息できる海	2
3. 賑わいのある海	
第3節 海域に応じた『豊かな海』	2
第3章 環境保全・再生の在り方	
第1節 環境保全・再生の基本的な考え方	
1. きめ細やかな水質管理	4
2. 底質環境の改善	7
3. 沿岸域における良好な環境の保全・再生・創出	12
4. 自然景観及び文化的景観の保全	
5. 共通の事項	1
第4章 今後の環境保全・再生施策の展開	
第1節 基本的な考え方に基づく重点的取組	
1. きめ細やかな水質管理	17
2. 底質環境の改善	3
3. 沿岸域における良好な環境の保全・再生・創出	9
4. 自然景観及び文化的景観の保全	1
第2節 その他瀬戸内海の環境保全・再生のための重要な取組	
1. 気候変動への適応	
2. 海洋ごみ対策	1
3. 持続可能な水産資源管理の推進	
4. 沿岸防災と環境保全の調和	1
第3節 環境保全・再生の推進方策	
1. 瀬戸内海に係る計画及び法制度の点検・見直し	8
2. 評価指標の設定	12
3. 役割の明確化	
4. より幅広い主体の参画・協働の推進	
5. 国内外への情報発信の充実	
6. 環境教育・学習の推進	
7. 調査・研究、技術開発の推進	5
『豊かな瀬戸内海』のイメージと3つの価値との関係	
パブリックコメントの方法について	
合計	120